

2024 年度 各種調査実施計画

1. 小ループ試行事業運用に関する聞取り調査

小ループツアーの利便性向上を目的とした増枠を見据え、課題を検証し対策に繋げるとともに、次期利用適正化計画へ反映させる。回答時期はヒグマ活動期終了時を想定する。

対象①：登録引率者

内容：引率中の課題や利用者対応、予約や運用ルール、増枠時の懸念事項 等

対象②：フィールドハウススタッフ

内容：案内や手続き等の現場運用のあり方、安全対策 等

2. 利用者意識調査

知床五湖モニタリング実施計画に基づき、制度開始前後の平成 22 年（2010 年）～平成 24 年（2012 年）に実施した利用者意識アンケート調査の追跡調査を行う。必要に応じて、利用適正化計画見直しに関する設問を追加する。

【対象】

<意識調査 A>ヒグマ活動期のツアー参加者

<意識調査 B>ヒグマ活動期の高架木道利用者

<意識調査 C>植生保護期の全利用者

A～C について、時期や曜日に偏りがないよう実施日を抽出する。

【内容】

- ・訪問回数
- ・五湖以外の訪問場所
- ・訪問理由
- ・制度の情報源
- ・満足度 等

3. モニタリング実施計画の更新

令和 4 年度に作成した第 1 期モニタリング実施計画の計画期間が令和 6 年度に区切りを迎えることから、これまで実施してきた調査を取りまとめ、令和 7 年度以降のモニタリング実施計画を策定する。

なお、令和 2～5 年度で実施したセンサーカメラ調査は、調査分析のコストに対し得られるデータの用途が限定的であるため、今後は毎年実施する調査からは外すこととした。